



## よくある質問

### Q1 そもそも「3R」とは なんですか。

3R（スリーアール）は、発生抑制（リデュース；減らす）、再使用（リユース；繰り返し使う）、再生利用（リサイクル；再資源化する）の優先順位で廃棄物の削減に関するキーワードです。（p. 4・5参照）

### Q2 そもそも「循環型社会」 とはなんですか。

「循環型社会」とは、第一にごみの発生を抑制し、第二に排出されたごみについてはできるだけ資源として利用し、最後にどうしても循環的利用が行われないものは適正に処分することが徹底されることにより実現される、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減される社会です。（p. 5参照）

### Q3 市町村によって分別収 集（ごみ出しルール）が 違うのはなぜですか。

家庭から排出されるごみの処理は国ではなく市町村の仕事とされており、市町村が地域の実情等を踏まえて分別ルールを独自に定めることから、分別区分等に違いがあります。

### Q4 「容器包装リサイクル 法」とは何ですか。

家庭ごみの半分を占める容器包装の排出抑制や再商品化を進めるための法律で、消費者（分別排出）、自治体（分別収集）、事業者（リサイクル）という役割分担のもと、容器包装についてのリサイクルを促進しています。（p.15参照）

**Q5** なぜ分別をしなければいけないのですか。

家庭から排出される缶、ガラスびん、プラスチック製容器包装、紙製容器包装、ペットボトルなどの容器包装廃棄物は、分別して排出することで、新たな製品や再生原料を使った製品に生まれ変わります。(p. 8～14参照)

容器包装以外にも、不要になった家電製品や小型電子機器も適正に引渡すことで、有用な金属(鉄、アルミ、銅、貴金属)等が取り出され、様々な製品の原料として利用されます。

**Q6** ペットボトルを資源回収に出すとき、ふたやラベルを取るのなぜ？

一口にプラスチックといってもその種類は実は様々です。ボトル本体はポリエチレンテレフタレート(PET)、キャップはポリプロピレン(PP)など、ラベルはポリスチレン(PS)などから作られています。素材が違うので一緒にリサイクルするのは望ましくありません。

**Q7** レジ袋をもらうことは、何が問題なのですか。

レジ袋の生産に使用される石油などの資源の浪費につながっており、また近年ではEUなどにおいて海洋の生物への影響も問題視されています。また、適切に廃棄されずにまちの中に散乱すると、まちの景観の悪化にもつながります。(p.22参照)

**Q8** 海岸や川岸には、レジ袋など容器包装が流れ着いています。どう処理すればいいですか。

周辺国からだけでなく、国内からも多量と想定される漂着ごみ。地域住民にとって大きな問題です。環境省は排出先への協力を求めることを進めています。

処理については、民間団体などの活動が進められていますが、行政、事業者との協働での取組が望まれます。処理については、市町村の方針に沿う方法で進めましょう。

# Q & A



**Q9** ペットボトルが、国内で処理されずに、海外へ渡っていると聞きましたが、どうなのでしょう。

ペットボトルの多くは市町村や事業者によって回収されていますが、その回収されたペットボトルの中には、海外へ輸出されるケースもあります。現状リサイクルの約半分は海外で行われていると言われており、国内のリサイクルは、海外市況の影響を受け、原料の需給バランスが不安定となるなどの問題を秘めています。(p.14参照)

**Q10** 埋め立て処分場はこれからも必要なのですか

循環型社会への構築が進められている中、埋め立て処分量は減少し延命化が図られているものの、私たちの生活から発生したごみは、焼却、資源化、堆肥化等の処理により、減量化、再生化などされますがゼロにはなりません。したがって、焼却して後に残った灰やがれき等の不要物を埋め立て処分する必要性があり、埋め立て処分場は、これからも必要な施設といえます。

**Q11** 自分一人だけががんばっても社会は変わらないのでは？

一人の活動が家族や友人に影響を与えることもあります。また、環境団体や自治会などが主催する清掃活動や環境保全活動に参加すると、仲間が増え、大きなムーブメントにつながることもあります。人・団体とつながる機会を探してみましょ。具体的に私たちにできる取組について、本冊子も参考に、考えてみて下さい。(p.18～25参照)